

文・編集・発行 / 斉藤新緑 Tel (0776-82-1141) Fax (0776-82-2261)
 【斉藤新緑事務所】 〒913-0046 福井県坂井市三国町北本町2-1-20 京福三国ビル2F
 【e-mail】 sinryoku@aurora.ocn.ne.jp
 【ホームページ】 http://www.ss.apdw.jp

人に、まちに、いま、
 元気の種をまこう。

ほっとらいん

VOL.56

現在は `試合終了、までのロスタイム

人類滅亡のシナリオは回避できるのか

本年(二〇〇七年)二月、「気候変動に関する政府間パネル」(IPCC)は、地球温暖化に関する「第4次報告」で、衝撃的な内容を発表しました。

過去100年で地上平均気温は、0.74度上昇しており、明らかに温暖化は年々加速している。このまま温暖化が進行すると、地球の気候の不安定さが大きくなり、異常気象の頻度が増加する。引き続き化石燃料に依存しつつ、高い経済成長を目指す社会が続くならば、今世紀末には、平均気温の上昇は、4.0度(2.4~6.4度)に達すると予測される。

IPCCは人類の努力の程度に応じて、100年後の気温を4つのシナリオで表現しています。人間が対策をきちんと始めた場合が2.4度上昇で、最悪のケースが6.4度上昇です。

これを受け、英国「インディペンデント」紙は、それぞれの気温上昇に応じて、どのような影響が考えられるのかをシミュレーションした恐ろしい記事を書いています。

現在から2.4度の気温上昇で、地球上の生物種の3分の1が絶滅、3.4度上昇で北極海の氷がなくなり、熱帯雨林は砂漠になる。

4.4度上昇で海面は70m上がり、世界の食糧供給は尽きる。そして6.4度上昇で海底からメタンガスが噴出し「全球蒸発」、地球上のほとんどの生物種が絶滅するという。

間に合うのかどうか

外国のマスコミでは、「間に合わないかもしれない、間に合うとしたらいつまでか」という論議がさかんに行なわれているようです。その理由は、悪循環(ポジティブ・フィードバック)が始まりかけている。つまり、雪だるま式に温暖化が加速されていくということです。

4つの悪循環

1 シベリアの凍土が解けて、メタンガスが噴出

シベリア、ツンドラ地域の森林伐採によって、太陽光線が永久凍土の表土に直接届くことになり、氷が解けて、森の中に小さな池をつくり、やがて大きな湖となつて、メタンガスが湧いてきます。

このメタンガスは、地球温暖化を二酸化炭素(CO₂)の20倍以上も進めます。シベリアはこの30年間で気温が2度も上がり、メタンを放出する湖の面積は、二〇〇〇年には一九七四年に比べて58%も増えています。

2 急激な温暖化で、木は成長できない

ここ50年間の値として、10年当たり1.3度、気温上昇がありました。が、気温1度の差は、森林の生態地域を北に130km移動します。

すると、今そこに生えている木は、そこで生きることができなくなります。木を植えて成長するのに50年かかりますが、育つうちに気候が合わなくなつて、やがて立ち枯れてしまいます。

二酸化炭素(CO₂)を吸ってくれた木が枯れると、立ち枯れた木が微生物に分解されて、CO₂を排出する側となり、さらに温暖化は加速します。

3 海が二酸化炭素を吸収しきれなくなつて、逆に排出する

海は現在CO₂をどんどん吸い込んでくれています。CO₂が溶け込むにつれ海水が酸性に傾き、大気中のCO₂が600ppmを超えるとサンゴ礁が溶け出し、サンゴの中に炭酸カルシウムの形で固められていたCO₂が大量に溶け出すので、海はCO₂を吸収しきれず、逆に排出する側となり、温暖化は止めどなくなります。そして、海底にあるメタンガスの積もった「メタン・

ハイドレイド」が溶け出すと、地球の海が全部蒸発する「全球蒸発」となつて、あらゆる生物が滅亡します。

4 氷河が解けて、熱を吸収する太陽光を反射して熱を宇宙に逃がしていた氷が解けて、熱を吸収する海面や表土になると、さらに氷が解け、温暖化が進む。

特に、北極海やグリーンランドの水は急激に減少しており、一年間に60万km³(日本の面積の1.6倍)の水が消失しており、前年比14%のマイナスです。

このペースでいけば、IPCCの予想より早く、北極海の氷がなくなるかもしれません。

この4つがどれか一つでも起つてしまえば、もう人類の未来はおしまひという状態です。そうならば、もはや人間がどんな努力をしても元に戻せません。

私たちに残されている時間は、あと何年なのか、それはちょうど、サッカーの試合で後半45分が終わったあとのロスタイムのようなもので、いつ終了の笛が鳴るのか、ハラハラしている、このわずかな時間が私たちに残された時間だということです。

何をさておいても、温室効果ガス排出削減の行動を強力に開始しなければなりません。(連載します)。

なぜ必要か なぜ旧県立図書館か

予算特別委員会 総括質疑
一問一答 ガチンコ60分



ちよびと待ただ!

子ども歴史文化館

「いつでも身近に福井の文化

○第一級の文化を子供たちに

・福井の歴史、福井の偉人(杉田玄白、松平春嶽、橋本左内、由利公正など)、白川文字学などを学ぶ郷土文化の拠点「福井子ども歴史文化館」を旧県立図書館に整備

このように、知事のマニフェスト(選挙公約)に書かれています。

これに基づき、九月定例議会では、旧県立図書館活用事業(福井子ども歴史文化館の整備)...

・事業期間

(十九年度～二十一年度)

・整備場所(福井市城東一丁目、旧県立図書館)

・事業内容

十九年度 展示内容の検討

として、四百七十万円の予算案が示されました。

しかし、以下に示すように、内容が十分検討されたものとは言いがたく、予算特別委員会総括質疑において、これを質し、理事会の開会を要求、全員一致で、「議会の承認を得るまで具体化しないこと」を議決の付帯条件と

し、必要性、設置場所の妥当性も含め、再検討を求めました。

▼知事がいくら選挙に「選

たから」といつて、選挙公約(マニフェスト)が県民にすべて承認されたというのは無理がある。(実態としてはほとんどが読まれていないし、選挙は、対戦候補との比較において選択されるもので、時には無投票ということもあるが、選挙公約がすべてではない)。従って、選挙公約の内容については、当選後、県民の声を聞き、行政内部や議会と十分協議して、内容を部分修正したり、補充したりして、精査合意したものを知事任期四年間の県の基本方針として取り組むことを私たちは求めてきました。

しかし、知事は、内部の部長長とは、政策大意という名の実質的な業務命令を、議会とは「予算が計上された時、その都度、審議してもらえばよい」としていま

す。

今回の事業は、まさにマニフェストに書かれているものがいきなり予算化されたものです。「マニフェストに書いてあるのだから議会が議決して当然だ」と

いう荒っぽい姿勢にも見えますが、このような手法をとった場合、どのような問題があるのかも含め、検証していきます。

(二)政策の発生源

「福井子ども歴史文化館を旧県立図書館に整備する」という政策の発生源はどこにあるのでしょうか。

今回の事業を吟味すると、「旧県立図書館を活用すること」、「子ども歴史文化館を設置すること」という二つの事業がセットで提案されているものであることに気付きます。

知事が選挙公約にしたのは、どういう民意があったのかかわりませんが、このことについての要望や意見を福井市選出の県議は、誰も聞いていません。

議論をしていると、発相源は、旧県立図書館をもっと何かに活用できないかということから材料を探したように見受けられます。

(二)手順について

通常は、まず「基本構想」を描き、議論することから始まります。その後、基本計画、基本設計

実施設計、工事着工という順になります。規模にもよりますが、通常は各々これらに一年余をかけるので、構想から完成まで最低でも三五年を要します。

しかし、「福井子ども歴史文化館」については、知事が選挙を闘うときに書いた選挙公約だけで、構想も基本計画も示されないまま、いきなり「展示内容の検討」という曖昧な名称での予算が計上され、来年度一年で工事を完了し、平成二十一年度オープンする計画が示されました。

選挙公約を実現するため、期限、財源、数値目標を明記して約束することをマニフェストと呼びますが、未だ概算額も示されず、「これから検討する」というのでは、何も煮詰まっていらない提案内容といわざるをえません。

災害復興工事でないのに、なぜそんなに急がねばならないのか疑問があります。

(三)検討された代替案は?

どれだけ練られた政策なのか見わけると、ほかに検討された案を知ることにも大事です。

福井の歴史や偉人、白川文学を学ぶには、「子ども歴史文化館」を

設置する以外に方法はないのか。その設置場所は、旧県立図書館を整備して利用するしかないのか。

県下で、福井市に「カ所」子ども文化館を設置することよりも、学校の図書館や教材を充実させる方が有効なのではないか。

旧県立図書館は、老朽化した暗い建物であり、これを快適なものにしようとするれば大きな予算が必要である。

現在、埋蔵文化センター分室NPOが主催する子ども図書館として有効利用されている。

文化館として老朽化した施設を整備するよりも、県立図書館県立歴史博物館福井の偉人の文化財を持つ福井市歴史博物館などを利用したほうが施設体系としても展示内容を豊富化する上でも有効である。あるいは、駅周辺活性化のために、「アオッサ」を利用することも考えられます。

(四) 福井県立と福井市立
福井市は県庁所在地であり、県都であるから県内を代表する県



旧県立図書館(福井市城東1丁目)

福井市も図書館や美術館など

福井市も図書館や美術館など

福井市も図書館や美術館など

福井市も図書館や美術館など

福井市も図書館や美術館など

福井市も図書館や美術館など

福井市も図書館や美術館など

福井市も図書館や美術館など

郊外に建設しています。

このようにして、福井駅周辺中心市街地の活性化が求められ、福井駅前の県立地下駐車場駅裏に福井市の「アオッサ」が建設されました。

利用客が少ない、商業テナントが入らないと早くも予想された問題が浮上しています。

県立音楽堂や県立図書館は、私が県議会に出る以前のものですが、地下駐車場アオッサは議決に参加したものです。

歴代の知事が、選挙に出馬するとき約束したことを実践した結果です。

議会がいくらか問題点を指摘しても、予算を提案すると行政は「予算を通す」ことが目的となつて、原案を再検討することはありません。見直させるには、議会が否決するか、修正するか付帯決議などで条件をつけるなどしなければなりません。

いくら批判しても、予算を承認すれば、議会(県民)の了解を得たことになります。議会は「県民の最終的意思決定機関」ですから、問題のある議案は、きちんと否決しなければなりません。それができない議会は存在意義がありません。

しかし、県議会は40名の合議制で、個別利害関係も働き過ぎ半数の議員が同一行動をとるのは容易ではなく、しっかりしたぶれない議会のリーダーが必要となります。



福井県立美術館

福井市文京3丁目16-1



アオッサ

福井市手寄1-4-1



福井県立歴史博物館

福井市大宮2-49-45

協働のまちづくり

ホンモノの協働」と「セの協働」

「あなた作る人、私食べる人」昔そんなコマース・コピーが波紋を呼んだことがあります。

地方自治も少し前までは国が方針を決定し、それに従って都道府県、市町村が行動してきました。

そのことによって、画一的に全国一律どこに行っても最低限の生活レベル(ナショナルミナム)が保障されてきました。

そんな時代から、地方分権の流れの中で、今日「協働」(コラボレーション)という言葉が使われるようになって、官と民間企業やNPO、市民が協働でまちづくりをすすめることが提唱されてきました。

しかし、協働の中身を吟味すると、コレステロールと同様に、「協働」にも「善玉」と「悪玉」があるような感じがします。

それは、政策を作る人と実行する人、決める人と従う人という構図の中で、作業や行事やお金の負担など実行部隊として市民が参加することを

「協働」とするだけで、自治体経営への参加、政策の企画立案には「協働」しません。

「あなたの意見求めています」「さぶとん集会、語る会を開催します」といって、あたかも住民参加のスタイルをとっているかのように見えても、政策形成過程での情報公開がなく、不透明なまま、決まったことだけが告げられるようでは、「協働」とはいえません。

真の民主主義の住民主体、自治体経営のパートナーシップとしての視点と、首長の有権者へのゴマスリ(選挙運動)とか、行政改革の一環として、官から民へ公務員がするより、民間人がした方が経費が安い、効率がいいという視点とは、明確な違いがあります。

よりよいものを造るには、リーダーの情熱とリーダーシップが必要ですが、より多くの知恵、多面的な視点、経営主体、運営主体としての市民とのパートナーシップが欠かせません。

行政が市民とパートナーシップを築くには、政策形成における公開・協議・公衆参加が必要です。

今日の福井市中心市街地の空洞化は、中長期の面としての構想、ブランドデザインがなかったことを証明しているもので、政治家や行政が独断的に短絡的に、安易にもこのことを決してきたことに起因しています。

▼ビジョンを求めて
「ビジョンなき改革」などと揶揄された中央政治もありましたが、政治家は将来ビジョンを示すことが、使命だと思います。

西川知事は、現在「情勢の変化が激しいので、作ってもすぐ見なおさなければならぬ」として、中長期ビジョン、中長期計画を示さず、選挙公約で示したもので、県政運営をしています。

私たち議会には「予算が計上されたときに、その都度審査」という姿勢ですが、部分、部分が正しくても、全体から見たり、長期的に見たら間違っていることも多くあります。

個別施設を建設したことは正しくても、どこに建てるのかよいか、どのような役割と機能をもたせるのかは、将来展望がなければ見えてこないからです。

環境問題も重要なテーマです。限りある予算を優先だけの視点で使うことは許されません。

米

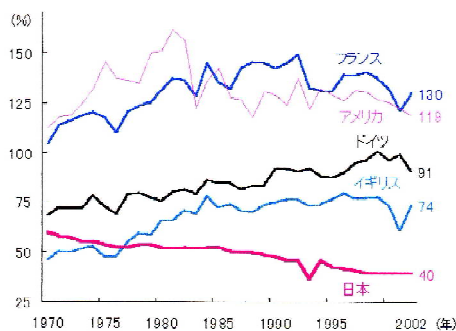
天野 忠

この
雨に濡れた鉄道路線に
散らばった米を拾ってくれたまえ
これはバクダンといわれて
汽車の窓から駅近くなって放り出された米袋だ
その米袋からこぼれ出た米だ

このレールの上に レールの傍に
雨に打たれ 散らばった米を拾ってくれたまえ
そしてさっき汽車の外へ 荒々しく
曳かれていったかつぎやの女をつれてきてくれたまえ
どうして夫が戦争に引き出され 殺され
どうして貯えもなく残された子供らを育て
どうして命をつないでできたかをたずねてくれたまえ
そしてその子供らは
こんな白い米を腹一杯喰ったことがあったかどうかを
たずねてくれたまえ
自分に恥じないしずかな言葉でたずねてくれたまえ
雨と泥の中でじっとひかっている
このむざんに散らばったものは
愚直で貧乏な日本の百姓の辛抱がこしらえた米だ
この美しい米を拾ってくれたまえ
何も云わす
一粒ずつ拾ってくれたまえ

小農家切り捨て・農協解体 農業の大リストラは国を滅ぼす

○主要先進国における食料自給率の推移



(資料)日本以外のその他の国についてはFAO "Food Balance Sheets"等を基に農林水産省で試算。

グローバルゼーションという耳慣れない言葉が登場したのが、一九九三年ころだったか、それまでは「国際化」といつていた。

それが具体化してしてきたのは、一九九五年にWTO(世界貿易機関)が発足してからだ。この十年間に世界の農業・農村で何が起きたのか。

ひとことでいえば、「世界中の農民が農業で食えなくなった」ということのようなのだ。

原因は、無定見な農産物の自由貿易の推進である。それぞれの地域や国の農業が依って立つ基盤も環境も度外視して、一律に関税を引き下げて自由貿易を推進すれば、農産物の価格はもっとも安いところ

食料を山ほど積んでいる人と、空っぽの倉庫の人とが同じルールでやろうというところにある。

工業であれば、世界のナンバーワン企業が制覇して世界中に自社工場を造れば、均質な製品の供給は可能だろう。しかし、農業ではそれができない。仮に農産物輸出国のケアンズグループ(カナダ、アメリカ、オーストラリアなど)がその強い競争力で他の国々の農業を駆逐したとして、そのあとの世界の食料の供給はできない。これが工業と農業との根本的な違いであり、それぞれの地域と国にそれ

「農産物の自由貿易が世界の飢饉をなくす」というのはウソで、農産物の貿易は余っているところから不足しているところへいくのではなく、値段の安いところから高いところへしか移動しない。

だから、日本のように飽食といわれるほどに食べものがあり余っている国に世界中から集中し、カロリーベースで三割も捨てられて、世界の飢饉は拡大するのである。

「アメリカでは、WTOの成立後笑い話ではなく、一州一農場になるのではないかという話がある。一九八七年でさえ、一キロメートルに一軒ほど、町全体で三十軒程度の農家があったのが今は二軒



自民党新国会、坂井地区農政懇談会

程度になっている」。これが農業におけるグローバルゼーションの途中経過であり、進行方向である」という。

▼農業を滅ぼす能天気な認識

日本の農業の10年間の変化をおおまかな数字でみると、その衰退の激しさに目をおおいたくなるほどだ。

農家戸数は384万戸(90年)から毎年5、6万戸ずつ減り、293万戸(04年)となった。

食料自給率(カロリーベース)は47%から40%へ、穀物自給率は30%から28%。

農地面積は512万ヘクタール(93年)から471万ヘクタール(04年)に減少し、逆に耕作放棄地は2万ヘクタール(92年)から38万ヘクタール(05年)に増えた。

農業産出額は約11兆円(94年)から8・9兆円(04年)へと2兆円減り、農業所得はWTO発足前(94年)の61%まで減少した。

大部分の農家にとって、農業では生計が立たない、業としては成り立たなくなってしまうのである。当然そこで働く人はいない。

とりわけ深刻なのが、意欲的に規模拡大を目指してきた人たちだ。借金して買った農地は半値になり、売ろうとしても買う人はいない。WTO以前の米一俵2万円をもとにした借金の償還計画も、大幅な米価下落で破綻した。

これが日本の農業におけるグローバルゼーションの10年である。

「世界中から関税ゼロでいろんなものが輸入できて、国民の生活は豊かになる。いや、そうしなければ国際社会で日本は尊敬されず、国民も豊かになれない。」という論が登場する。

農家戸数が減り、農業人口が減少していくことが日本本の農業の構造改革を進めるという幻想は、あたかも信仰のごとく一部の人がとに食っている。

農業の産出額が変わらず、担う人が減少すれば、それは生産性の向上を意味する。だが、日本の場合、産出額は縮小し、食料自給率は低下し、農業をやる人はいなくなる。つまり、農業と国産の食は消滅の危機にあるのだ。

単純な経済至上主義の能天気な認識こそが農業を滅ぼす。

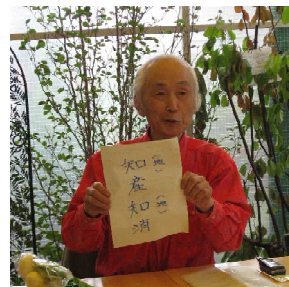
福井県議会初の政策条例

地産地消推進条例を議員立法

収益確保、農村の活力をめざして



中央卸売市場



中川清さん



「ファームビレッジさんさん」

豊富でおいしいバイキングメニュー

す意味にお
いても、議
員立法な
ど、積極的
に取り組ん
で生きたい
と思いま
す。



関係者と意見交換会(産業常任委員会)

私は、特に農村議員というこ
ともあり、この間、ずっと農業
農村を守るために様々な発言
提言をしてきました。そして、
その都度、「こもとも」と、「私た
ちも検討する」、「具体化した
い」という回答をもらってきま
したが、10年経って、気がつく
と何ひとつ進化していないこと
に気づき愕然とすることがあり
ます。いつのまにか、途中で消
えている。

国の農政は、政策がないから

かつて、篤農家は「国の言う
ことと反対のことをやれ」と言
いましたが、今日、戦後
の農地解放と逆の、農
地集積をして、大規模農
業を推進しています。

議員が指摘したり、提言した
ことに對して、行政が「聞きつ
ぱなし」で、何もしていない「不
作為」に對しては、行政の怠慢を正
す意味にお
いても、議
員立法な
ど、積極的
に取り組ん
で生きたい
と思いま
す。

農林水産省が、8月10日、06
年度の食糧自給率(カロリー
ベース)が前年度より1ポイン
ト低い39%だったと発表したこ
とを受け、地域自給率を高め、
農業者・農村・食を守る政策を
強化するため「地産地消推進条
例」を議員立法しました。



J A 福井市の直売所「喜ね舎」

小農家切り捨て、従来の担い
手農家をつぶすような集落営農
も見受けられます。
いずれも、地方の農業行政は、
国の補助金に誘導され、補助金
をもらうために、国に従って、事
業を展開してきた側面がありま
す。

その結果が、今日の状況とい
えます。

いくら農協が利益を上げてても、
農業者の所得が増えるわけでは
ありませんし、いくら土地改良
事業に巨費を投じ、立派に完成
しても、そこで農作物を育て売
れなければ農業者の所得にはな
りません。

農業者、農村が元気になる直
接的な政策を具体的に進めなけ
ればなりません。

「ノー政」、コロコロ変わるから
「猫の目農政」といわれ続けて
きました。
その政策、事業を展開すれ
ば、農業は育っていくのか、ど
こに根本問題があるのか、きち
んとした処方箋に基づいた一貫
した真剣な政策というより、多
国籍企業、輸出産業のために、
農業を徐々に切り売りしてきた
政策に見えます。

地産地消ということ
地産地消という言葉は、単に
地域で採れたものを地域で消費
しようという農業分野だけでは
なく、時代のキーワードになっ
ています。
それは地域の自立という意味
で、地方分権思想であり、環境・
エネルギーなど地域自給型スタ
イルにもつながっています。
今回、私たちが、特に農業分野
の「地産地消」に焦点を当てたの
は、前記したような国が40%か
ら45%を目指していた食糧自給
率が逆に39%へと低下した危機
意識もありですが、地産地消の
意義と役割が、農業収益の確保、
地域コミュニティの維持、農村

地産地消課」のある高知県

の活力向上、持続的循環型社会
をめざす国土デザインを具体化
していくことなどの面から非常
に大きいということです。

国も、平成17年3月、「食料・
農業・農村基本計画」を定め、地
産地消の全国展開を食料自給率
の向上に向けた重点取り組み事
項の一つとして位置づけ、地域
地産地消推進計画の策定を求め
ています。

地産地消課を設置した高知県
平成15年に、単独で「地産地消
課」を設置した高知県では、平
成15年・17年の第1期地産地消
推進プログラムを経て、現在、第
2期(平成18・20年度)プログラ
ムを作成し、地産地消が推進
されています。

「高知県の地産地消は、高知の
食を柱として、いきいきとした
まちづくり、むらづくり」の方
向をめざして進んでいます。

取り組みの柱として、以下の
4つを掲げ、地産地消を定着さ
せる仕組みづくりに取り組んで
います。

①「おいしい風土こうちサ
ポーター活動を中心とした民間
活動の促進」、②「地産地消に関
する情報の発信」、③「持続的な地

産地消を通じた地域づくり(市
町村への支援)、④四つの分野
(直販所・量販店、医療・福祉施
設、観光・食農教育・食育の分野)
での新たな展開

この結果、平成17年度末では、
サポーターの数も303件となり、
直販所の店舗数125、販売額59億
円と、右肩上がりに伸びていま
す。地産地消によるレストラン
メニューの評価、表彰、紹介など
対応もキメ細やかです。

福井県では、未だ地産地消推
進計画が作成されていません。
私たちは、計画策定を義務付
ける条例を制定し、課題を整理
し、具体的に取り組むことをめ
ざしています。

そのため、私たちは、県内外の
地産地消の多くの現場を歩き、
意見を聞いています。



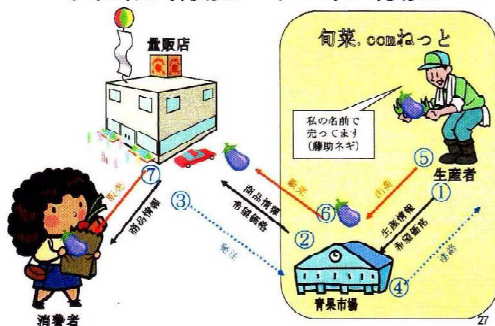
高知県地産地消課に学ぶ新議会

③新たな流通の展開

- ・予約相対販売
(返品なし、販売価格の安定→経営の安定)
- ・インショップで多店舗展開
(幅広い年齢層での集客力・生産規模拡大が容易)
- ・低コスト流通 (コンテナ流通・規格の簡素化)
- ・朝どり野菜の出荷 (なす・ブロッコリー、ミディー)
- ・熟度の高い商品の提供
(とまと・ミディー・マルセイユメロン)

26

・予約相対販売・インショップ販売



・価格設定について

- ・原価設定・・・生産者希望価格が基本
(再生産価格+やる気)
- ・売価設定・・・相場を配慮して
市場が売価設定
- ・完全買取・・・売れ残り商品の返品なし

28

・学校給食へ食材の提供



地元スーパーマーケットに専用コーナー

●生産者の現状

- ・価格の低迷
- ・価格変動が激しい
- ・連作障害
- ・生産者の高齢化
- ・生産者の後継者不足



「旬菜.comねっと」って?

「旬菜.com」は、南越地区内の生産者、JA(越前たけふ、たんなん、福井池田)、市場(武生青果株式会社)で組織している団体で、地産地消運動に積極的に取り組んでいます。05年には、全国地産地消優良活動表彰事業で総合食料局長賞を受賞しています。

区内の生産者、JA(越前たけふ、たんなん、福井池田)、市場(武生青果株式会社)で組織している団体で、地産地消運動に積極的に取り組んでいます。05年には、全国地産地消優良活動表彰事業で総合食料局長賞を受賞しています。

武生青果株式会社が、地場産農産物を取扱い、生産者と市場(マーケットや給食センターなど)の間に入り、生産者の立場を理解し、安全・安心な農産物を市場に安定的に買い取ってもらえる新たな流通の展開が行なわれています。

間に入ってつなぐ人が大変頑張っておられ、感謝しました。



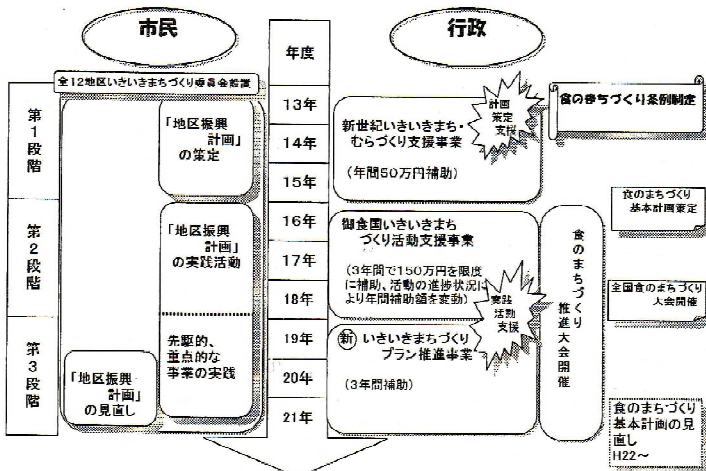
旬菜.com
南越産
しゅんさい・ドットコム

生産者の為の生産者の組織を作ろう

校区内地場産学校給食で食べ残しゼロ

地産地消現場視察 行動日程

- 11月2日
JA福井市の直売所「喜ね舎」
「福井中央卸売市場」
「ファームビレッジさんさん」
▼意見交換会
病院給食、学校給食、大型レストラン、消費者団体、県民生協の代表者、および県産木材の活用関係者など
- 11月5日
長野市役所農政課
- 11月12日
高知県庁 地産地消課
道の駅ヤスの「安らぎ市場」
JA「かざぐるま市」
- 11月15日
武生青果株式会社(旬菜.comねっと)
森林の水PR館(若狭森林組合)
御食国若狭おばま食文化館
小浜市役所
- 11月19日
▼意見交換会
坂井市・あわら市(農業・飲食関係者)
勝山市北谷地区



平成13年9月には、全国初となる食のまちづくり条例を制定しました。以来、同条例に基づき、食を中心に、農林水産業をはじめ、食に関する産業の振興、環境の保全、食の安全・安心の確保、身土不二に基づく地産地消の推進、健全な食生活の実践による健康長寿社会の実

食のまちづくりの中でも、特に食育については将来のまちの発展を担う人づくりの観点から力を入れて取り組んでおり、子供たちの料理教室、通称キッズキッチンや地場産学校給食、成人向けの各種料理教室、ふるさと料理の会食など、幼児から高齢者に至るまで、あらゆる世代を対象に、ライフステージに応じた、さまざまな食育事業を実施しています。

平成16年12月には、食育の実践による人づくりや伝統ある食文化の継承など全7項目からなる「食育文化都市」を宣言しています。

小浜市は、飛鳥・奈良の時代より、朝廷に塩や海産物などの食材を提供する御食国(御食・天皇の食料)として知られていま

す。現在の村上市長が就任した際、地域の財産である豊かな食に着目し、食を重要な政策の柱に据えた

現、食育の推進などあらゆる分野の施策を総合的に推進しています。そして、こうしたまちづくりの推進の基本手法として、市、市民、事業者の協働によるまちづくりを進めています。

食のまちづくりと生涯食育

第1回 自民党新政会 県政懇談会

i n 坂井市・あわら市

県議会に風穴をあける男たち



とき 十月十五日(月)午前十時～午後九時三十分
ところ 坂井市 多目的センター、あわら市 ホテル美松
内容 第一分科会 坂井市長、あわら市長、市議会
第二分科会 民間保育園 高齢者・障害者福祉施設関係者
第三分科会 農業団体 農業関係者
第四分科会 観光関係者

書を捨てよ、町へ出よう

四つの分科会
形式で、テーマ
別に約百名の方

私たち自民党新政会は「事件は現場で起きている」という原点を見つめ、「出張して県民の声、地域の声を聞こう!」と各地で県政懇談会を開催することにしました。

近年、知事が「さぶとん集会」など県民との直接対話を取り入れたり、マニフェストという政治手法を用いています。

知事と議会は、直接公選ゆえに政治的には対等な代表機関ですが、独任制の知事と多数数からなる合議制の議会とは、その性格上、得手不得手があり、この違いを活かして県民意志の確な反映をめぐって競い合い、協力し合えば、最良の意思決定に到達できると思われま

しかしながら、県議会として、これまで、こうした行動をとってきませんでした。それは、ある面で多数数であるゆえの不得手な部分ともいえますが、各党派としても実施されませんでした。

その面では、県議会初の試みとなりました。その第一回は、党派構成員の三分の一を占める坂井地区で開催されました。

私たち自民党新政会は「事件は現場で起きている」という原点を見つめ、「出張して県民の声、地域の声を聞こう!」と各地で県政懇談会を開催することにしました。

出席者の多くから、「このような機会をつくってくれて感謝します。」「こんな場を心から待っていました。」「何回もやって下さい。」「この声が聞かれ、開催したことに対する高い評価を受けました。」

本音の声を聞いて痛感したことは、県民の代弁者としての議会に対する期待の大きさであり、行政監視、行政指導・改善などを求める声の強さです。

議会がより身近で何でもいえる存在になることを実感しました。

今回の県政懇談会で出されたご意見・ご要望については、きちんと整理し、必要なものは自民党新政会として、知事に要望し、回答を得て、ご返事させていただきますと思います。

またこうした内容をしっかりと県政に反映させ、条例や新しい施策、質問のとして大いに生かしていきたいと思っています。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。」「何回もやってほしい」のご要望にお応えできるように、努力してみます。



ご意見、ご質問、メッセージ
お待ちしております。



10月4日予算特別委員会の
VTR拝見しました。

今、福井の子供たちに必要なものは何か?

果たして、不登校の子供たちが、旧県立図書館の展示物を見学に行くのでしょうか?

福井の偉人たちの展示物やパネルが、心の中のものやもと格闘して苦しんでいる子供達に感動を与えられるのでしょうか?

そもそも、この予算自体の必要性が疑問です。

夜中にコンビにタムロしたり、公道でスケートボードしたり、あの子達の居場所を作ってあげることが先決ではないかと私は思います。あの子達の話を聞いてあげれる機会を提供する場所が足りないとも思います。

新緑さんのご指摘の通り、本当にこの予算、ちゃんと行政側が検討を重ねて、確たるビジョンを持った上での物か……..
優等生相手の奇麗事や、箱物を持て余した大人の都合で子供たちの教育は決して出来ませんよ!

雑詩

晋・陶淵明

人生無根蒂 飄如陌上塵
分教逐風轉 此已非常身
落地為兄弟 何必骨肉親
得歡當作樂 斗酒比隣聚
盛年不重來 一日難再晨
及時當勉勵 歲月不待人

人生 根蒂無し
飄として陌上の塵の如し
分教して風を逐いて転ず
此れ己に常の身に非ず
地に落ちて兄弟と為る
何ぞ必ずしも骨肉の親のみならんや
歡を得て當に樂を作すべし
斗酒 比隣を聚む
盛年 重ねて来らず
一日 再び晨なり難し
時に及んで當に勉勵すべし
歲月は人を待たず

人生には依るべき根も蒂もなく
風にひるがえる道の塵のように定めぬ
風に散らされて転々と
一定不変の身というものはなく、無常のものなのだ
だからこそ、この地上に生まれて兄弟となるのは
必ずしも骨肉の近親だけではない
無常の世に生まれた人間同士、だれもが兄弟のように
集い
歡樂をはかるべきで
斗酒あれば、近隣相集って楽しむうではないか
人生の盛り、元氣な時は二度とは来ないし
一日のうちに朝は再び来ることはない
それだからこそ、時を失わず何事も勉勵しなければなら
ないのだ
歲月は人を待つことなく、忽ちに過ぎていく

新緑の気ままにトク

盛年 重ねて来らず
一日 再び晨なり難し
時に及んで當に勉勵すべし
歲月は人を待たず

「人生の哀歌」が身にしみるの
は、秋という季節のせい、五十を
過ぎた年のせい。それとも…

この秋は何で年寄る雲に鳥
去年より又さびしいぞ秋の暮れ
貧乏に追いつかれけりけさの秋

▼昔、娘たちが俳句ぐらいやれ
ると面白いなと思って、「坪内
稔典の俳句の授業」を買ってきて、
やってみたことがある。

その中に、ある小学校の女の子
が作ってクラスで人気を集めた
「菊の花 野良猫二匹 ○○○○
○」という句があった、この○○○
○○○のところはどんな言葉が入っ
ているのか、という質問があった。
娘たちは「歩いてた」「遊んでた」
「ケンカした」などと答えていたの
だが、正解は、「うんこし
た」だった。

それで俳句は、楽しい
ものだと思っただけじゃな
い。その後、何を
やっても、「うんこした」
「おならした」のオンパ
レードになってしまっ
て、父と娘の俳句の授業

は、妙な匂いを残しただけで、そ
れっきりになった。

その娘たちもスクスク育ち、
女房よりもでかくなると、家が
小さくなってきて、外の視線も
気になるようだ。

▼「あの、別にイヤっていう
んではないんやぞ、妹たちとも
仲良くやっていると。でも、
二十一になっても自分の部屋が
ないのは、私だけなんや」と娘に
しみじみと言われると、さすが
に辛い。

家を建てたのは
二十五年前、二十六
のとき。母親と二人
暮しで、将来、嫁さ
んぐらいは誰か来てくれるだろ
うとは思っていたが、子どもが
三人できて大きくなるというこ
とまでは、現実味がなくて、子ど
も部屋として十二畳も用意して
おけば充分だろうと高をくくっ
ていたのが、今日の状況となっ



あいつ。む！婿養子

財政が厳しい時代に
は、現在あるものを有効に使うの
が行財政改革の鉄則。
小屋の掃除からはじめた。父親
が死んで三十四年にもなるが、そ
のタンスがまだ残っており、中に
は戦時中の「奉公袋」まであって、
「支那事変従軍記章」などが入って
いた。

私の高校卒業時のアルバムや
寄せ書きみたいなものも出てき
て、食い入るように見ていた娘
が、「やっぱり私、お父さんに似
たんだ」というので、ニコっとし
たら、斉藤君って、私にとっ
ては宇宙人みたいで、分かりませ
んでした」という女の子の寄せ書き
だった。

葡萄の種が、あるように
私の胸に、悲しみがある
青い葡萄
酒なるように
私の胸に、悲しみがある
さびしい心
高見 夏

▼「欲しいと思えばすぐに欲し
い。飽きたと思えばすぐに捨てる。
憎いと思えばすぐに殺す。そうい
う、短絡的な心理傾向が拡大して
いるという。

その心理傾向は、欲しいと思え
ば二四時間三六五日、何でもすぐ
に買える消費社会の拡大によつて
もたらされたのではない。昔な
ら、来週まで我慢したこと、来年ま
で待ったこと、東京まで行かな
ければ買えないとあきらめたこと。
そういうことが地方の農村社会に
すらくなくなった。何も我慢をしな
くていい社会で、どうして犯罪だ
けを我慢できるだろう。」

そう言われて見れば、使い捨て
をあおる消費文明では、いつのま
にか、人間を使い捨てにしている
のかもしれない。

我慢できないから、夫婦も離婚
するのだから、離婚が当たり前
になってきたから、我慢しな
くなったといえるかもしれない。

惚れてしまえばアバタもエク
ボ、「倦きてしまえばエクボも
アバタ」。

夫婦生活というのは、それぞれ
が四枚のカードを持った人間どう

しの共棲状態という。
男と女、夫と妻、職業人と家庭
人、父親と母親。一人四役をこな
す。

男になったり職業人になった
り、妻になったり母親になった
りする。この変化が家庭の中で
しよつちゅうある。変化がびつ
たりくれば問題はない。が、一方
が職業人であるとき、片一方が
それを無視して女になる……これが
悲劇、喜劇のモトとなり、三面記事
をにぎわす。

▼命と婆さびしき秋の彼岸かな
向き合って言うこともなし柿を剥
く
女房と二人きりになると、最近
ふと、そんな句を思い出してしま
う。

「若きにもよらず、強きにもよ
らず、思い懸けぬは死期なり。今日
まで逃れ来にけるは、ありがたき不
思議なり。(徒然草一三七段)

山あれば山を観る
雨の日は雨を聴く
春夏秋冬
あしたもよろし
ゆふべもよろし

(山頭火)

▼秋深し隣は何をする人ぞ。
今年も早、あと一ヶ月余とな
りました。終わりをければすべ
て良し。十二月議会、ピシッと
しめていきたいと思えます。
どなた様も良いお年を。